

第3回 都道府県構想策定マニュアル検討委員会 議事概要

日時 平成25年11月18日(月) 10:00~12:00

場所 TKP大手町カンファレンスセンター ホール16A

○事務局より「今後の概略スケジュールについて」、「都道府県意見集約結果と対応」「(仮称)都道府県構想策定マニュアル(案)について」、「(仮称)都道府県構想策定マニュアルの名称について」および「その他(費用関数、事例集の進捗状況)」について説明。

<都道府県意見集約結果と対応について(資料-3、資料-4)に関する主な意見>

【前回指摘事項について】

- ・ 今回の都道府県構想の3省の合同マニュアルという意図から言えば、34頁の赤字で修正された部分で、個別処理に転換することも検討の1つであるということを明確に記載できると、マニュアルとして効果的ではないか。

【都道府県意見集約結果と対応について(コメント対応)】

- ・ (10番の回答)下水道区域から浄化槽区域へと見直すことにより、浄化槽の既整備区域となるということがわかりにくい表現となっている。回答をより明確にしてほしい。
- ・ 今までは10年概成ということで、都道府県構想及び流総計画をはじめとし、時間軸を重視して県の様々な計画も見直しを行うというイメージで捉えていたが、本日の議論では暫定的な施設として浄化槽整備していくとも捉えられ、わかりにくくなっている。総論等で明確にしてほしい。

【都道府県意見集約結果と対応について(マニュアル反映)】

- ・ ベンチマーク(指標)などいくつか出てきているキーワードについては、前書きあるいは総論のところで記載し、考え方を早めに出しておくべきではないか。
- ・ 本文の解説中で、各章との関連付けをすると対応が取れたものになるのではないか。

<都道府県マニュアルの名称について(資料-5)に関する主な意見>

- ・ 「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」ということで、非常に良い表現だと思う。

<その他(費用関数、事例集等)に関する主な意見>

- ・ 各市町村なり都道府県なりが、独自性のあるベンチマーク(指標)を使うことが重要であるということを、本体のマニュアルに書くか、事例に記述があると良いと思う。
- ・ 費用関数に関して、出来るだけ最新のデータを反映していただきたい。
- ・ 都道府県と市町村が足並みをそろえて整備計画の見直しができない場合、見直しを行うことのできる市町村から個別に先行して見直しを行っていきべきだと考える。

<3省事務局からのコメント>

- ・ 汚水処理施設は、重要且つベーシックなインフラであり、一刻も早く全ての国民に享受していただくのが、我々事業を担う3省の一番の目的である。
- ・ 今回、10年概成ということを入れさせていただいたのは大変意義あることと考えている。新しいマニュアルの下で、3省揃ってこの先10年での概成に向けて一生懸命考え、連携及び役割分担をしながら整備を進めていきたい。
- ・ これから1月中の公表に向けマニュアルを具体化していく。その中で汚水処理の早期整備による国民の暮らしや環境への効果を示すことにより、汚水処理施設に対する国民の理解が得られ、施設等の更新や維持管理に対し支援ができると考えている。より良いものに仕上げたいので、引き続きご協力をお願いしたい。